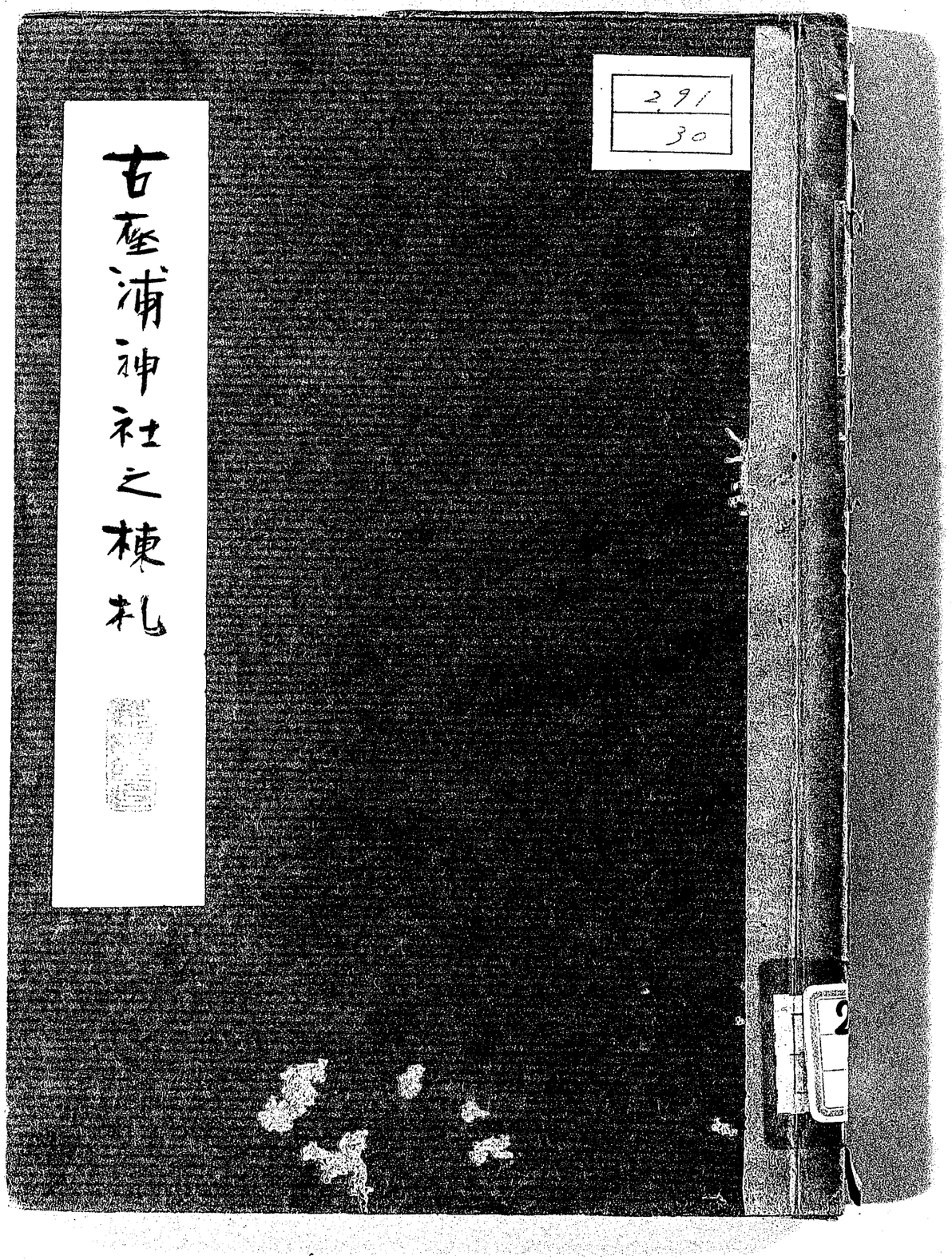


県立串本古座高校所蔵　中根文庫 資料番号 03956

中根七郎

摂社目次

八幡宮
延喜二年
貞観八年
文化七年
文政十年
天保十三年
河内八幡ヨリ勧請
大正二年

住吉神社
貞和七年
延享四年
天明三年
文化七年
天保九年
明治十三年

九頭竜
元和六年
寛永七年
貞享四年
文化三年
文政二年
文政五年
文政七年
文政八年

古座神社二勧請
大正十五年

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03956

291
30
1

221.21
No. 3956

昭和七年十二月下旬

八幡神社
吉嶋神社
九龍神社
住古座神社

御棟札寫

古座神社々掌

西祐房

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03956

八幡神社之部

御棟札計六葉

（表）

干時延享二乙丑冬十二月吉日

奉修覆若宮八幡守護之処也

祈願圓滿感應成就祈處

神主

九太夫

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03956

（裏）

施主

時庄屋 藤右衛門 大納屋役人 大工 七左衛門
同 肝煎 傳衛門 兵衛 和定 分抱十九人之内 七
同 幸右衛門 龍斬 右衛門 善六 五郎助
五人組 九右衛門 斬 太夫 四郎 ヤ 久太郎
同 傳斬 八 平次 同 善斬 悉
同 宇斬 平次 同 斬
同 傳斬 右衛門 同 弥次太夫

（表）

維時寛政八丙辰秋八月十三日

奉再建若宮八幡守護之處也

一天下大平社頭繁栄
一盤石堅固夜ノ守護
幸ヒ給ヒ賜ヒ給ヒ

常神主
山本九太夫

県立串本古座高校所蔵 中根文庫 資料番号 03956

（裏）

施主

時庄屋　長次郎
肝煎　林右エ門
同　傳兵衛

鯨方支配人　長左衛門
工匠　七左衛門
浦中氏子中

若二

（表）

干時文化七庚午秋　工匠　七左衛門
九月吉辰

奉修覆若宮八幡守護之処也

祈願圓満
感應成就祈處　神主山本九太夫

（裏）

當時庄官　西畑平三郎
施主　肝煎寺本茂介
同　新津田瀬右衛門
右同断　源兵衛
五人組　八兵衛
右同断　善四郎
走詰入　弥九郎

若三

（表）

奉修覆御屋根
若宮八幡宮守護之所
諸願成就皆令満足
西神主　山本佐太夫
上野弥次太夫

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03956

文政十一戊子霜月朝日

庄屋　雁賀屋佐助
肝煎　鍵屋源兵衛
古語入　切目屋文四郎
大工　七左衛門　弥惣吉

（表）

年襲部古座浦ノ下津盤根ヤ宮社太敷潟天原ヤ千木高知ヨ称辞竟奉　若宮八幡大神ノ御舎ノ年経有テ今年天保十三年八月新宮ヤ仕奉ヒ上留棟木波太高ク竹桙ノ音平ク鎮坐年大宮登社司木工諸共ヤ恐美恐美毛称辞竟奉ク登申

両神主　山本九太夫
伊勢外宮々掌大内人　上野次太夫
穂田元定謹書

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03956

（裏）

施主

當時庄屋　岩崎傳兵衛

肝煎　組頭　屋伴平治

右　同断　代屋弥九郎

御手組鯨方支配人　屋半藏

鈴木治兵衛

世話人

同　才賀屋佐助

同　津屋藏兵衛

堺屋平三郎

才賀屋善四郎

長嶋屋治右衛門

才賀屋治三郎

津荷屋利十郎

當番下ミ町

七左衛門

工匠　宗大工中

船大工中

（表）

天下泰平國家安穏

奉新建河内八幡住吉三神社々殿守護

諸願成就皆令満足

社掌　土野弥次太夫

社掌　土野　進

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03956

（裏）

奉祈武運長久

大正三年十月廿七日　氏子總代　玉井作兵衛

奉祈海上安全　大工棟梁　貴志文平

収議會長　津田松之助

延享三年新原著者制作神社錄ニ七座神社トアリ此記ト符合ス

龍王神社再興之記

我が古座の漁民を特に龍神を崇みて海上乃安全を祈り其他家業乃福利を願ふこと深厚なり是かため曾て一宇乃社殿を造營せん との志を抱きしが幸か西向村に鎮座せし住吉神社を袖笠神社に合祀する事となり本年四月六日遷宮式を畢至て其跡に殘りし建物乃不用に歸せる爲めおれを譲り受けて同月十日其取毀に着手し神笠神社乃社地内に再建し内外に修繕を加へ龍王神社乃社殿ゝしも八月十日全く其工事を竣成せり

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03956

我古座乃舊記を按ずるに寛政四年乃書類に若宮龍王なり又同十二年乃書類に若宮大明神なり其後天保四年乃書類にも若宮龍王也記事するを以て見れば我古座に龍神を祭れる古き緣起あるを知る而して其書類に掲ぐる処に徴するに元乃八幡神社は實に龍神を祭神として雖も當代乃人々は八幡神社乃祭神を應神天皇なりとし輓近おれを神笠神社に合祀せる次第にして其龍神を祭りしも乃たりしを知る者無し惟ふに若宮龍王といい若宮大明神といへる名乃神佛混淆せる時代也称呼たりしを以て明治の始め神

牛ノ醤油
社ノ例ヲ引
ニ依テ佛分離ヲ圖リ之ヲ結果トシテ自ラ龍王乃名社廢レ八幡神社ト革
称王ノ始マリシ此乃ならん

我國には古来海神としも豊玉彦神を祭れる事實なり豊玉彦神は即ち大綿津見神にして神武天皇乃御父彦波瀲武鸕鷀草葺不合尊乃御母たる豊玉姫乃御父にしも我國唯一乃海神なれば別に佛家也因緣を離れて神威乃赫耀たる國神なり尚東牟婁郡誌に依れば古座乃土地也存在する我古座に龍王神社乃存置する記事はれ限り龍王神社乃祭祀は決して断絶すべきも也あらざるを知る

べし

前記の舊記中に龍王の神體を丸き石とせる記事ありこれを社掌
上野氏に聞くに同氏の許る黒色の丸石あり其何の故たるを知ら
ざりしも從来これを祭り居れりと云へり而かも社殿造營の後さ
れを調査し如上の緣起を知るを得たるは寔に稀有の事實たりと
謂ふを得べし即ち茲に龍王神社の再興を成就するを得て偶然に
も祖先祭祀の精神を紹明し社名を復し古来の神体を社殿に鎮め
奉るを得たるは全く神意人心の合致する処必ずや我漁民は長に
海神の擁護を得て無窮の洪福に浴するを得んか本月十四日遷座
式を擧ぐるに方て謹かれが緣起を記すと云爾

大正九年九月十三日

古座漁民組合役員

組長　杉本岩太郎
　　岩見春松
　　藤田儀太郎
　　美濃市松
　　峯本重太郎

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03956

會計
世話人
横地三吉
西田作次郎
原大藏
平田平一
信地三吉
坂井三吉
賀志力松
宮本重太郎

住吉神社之部

御棟札 計六葉

県立串本古座高校所蔵 中根文庫 資料番号 03956

（表）

再興願主　山本徳右衛門　悉正晟　敬白

奉請根本住吉大明神守護志成也

旹秋津嶼永七庚午季三月吉日良辰

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03956

（裏）

工匠　仁右エ門　唯今造営之工匠那智

本地阿弥陀如来垂跡

鍛冶　吉右エ門

清蔵

与次兵衛

（表）

延享四丁卯天　神主　弥治太夫

九月　吉辰　巧匠　七左衛門

奉再建根本住吉大明神守護

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03956

（裏）

〃　時庄官　岩崎傳兵衛
　　高及兵右衛門

飛本地西利無量壽覺垂跡

〃　肝煎　浅利幸右衛門
　　植松龍右衛門

施主　鯨方大納屋商人中

組頭　石倉傳八郎
　　秀屋傳右衛門
　　湯川宇平治

（表）

〃　天明三癸卯歳

神主　孫治太夫
九太夫

奉再建根本住吉大明神祈願圓滿所
感應成就所

〃　十月大吉日

大工　四郎兵衛
長兵衛

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03956

（裏）

時庄官 長三郎
〃 平三郎

永本地阿弥陀如来之垂跡

〃 肝煎 新右衛門

組頭 伊右衛門

世話役 傳兵衛

住三

（表）

維時文化七庚午之秋九月良辰神主 弥次太夫

奉修覆住吉大明神守護之小祠

一天太平社頭繁栄常般堅固 永
夜ゝ守利日ゝ護利幸倍賜倍

工匠 七左衛門

県立串本古座高校所蔵 中根文庫 資料番号 03956

（裏）

施主　時庄屋　西畑平三郎
　　肝煎　勢右衛門
　　同　茂助

組頭　八兵衛
　　善四郎
　　源兵衛

　　浦中

（表）

年棲郡古座浦乃下津磐根尓宮柱太敷高天原尓千木高知氏称辞竟奉往吉三所大神乃御舎乃年経有乎今年天保九年歟四月新尓尓仕奉氏上留棟木波太高久打槌乃音平介久鎮坐年大宮登社司木工諸共尓恐美恐美毛称辞竟奉久登申

神主　止野弥次太夫
山本九太夫

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03956

（裏）

施主

時庄屋　岩崎傳兵衛

肝煎　才賀屋惣七

組頭　藤代屋弥九郎

右同　柳屋半藏

大工　七右衛門

世話人　雜賀屋佐助

（表）

明治十二年第八月十七日

奉遷宮住吉大明神鎮座再拜

氏子安全諸災除去

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03956

（裏）

詞掌

村田係

工匠

寺松一掌

堀市太夫

嶋半之右エ門

尾野久作

西畑平得

土山磯兵衛

網井傳左ヱ門

雜賀清右エ門

佳六

九龍嶋神社之部計八葉

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03956

（表）

往古黒嶌ト云

古座浦

奉請根本九龍嶋明神守護之処也

一天太平社頭繁栄常磐堅磐（仁）

夜乃守（里）日乃護（利）幸倍賜（倍）

敬白

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03956

（裏）

元和六年庚申八月

（表）當棟札裏書ナシ

奉再興九龍嶋大明神
本社大辨財天尊守護
干時寶永七庚寅卯月八日御造營
仝月十五日御宮移
古座清氏子謹言

神主　重兵衛
弥次兵衛

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03956

（表）當棟札二裏書十ノ

奉請根本九龍嶋大辨財天尊社

爲渡海安全大漁滿足

享保十六辛亥歲

古座浦氏子

神主　九太夫

弥次太夫

（表）

奉造營大辨財天尊社

爲古座浦繁榮

寛政八年丙辰六月穀旦

古座浦地士山

庄屋　本源

肝煎　長次郎

同斷　長傳

石工　林右衛門

神主　左兵衛

九弥次太夫

専善

文珠院延亮

長左衛門

吉藏

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03956

（裏）

黎島者古座浦之望也就祀天
女爲地鎮焉眞與境相得也享
保十六祀所修小祠漸廢奥今
新以石換之益圖不朽云爾

寛政丙辰六月　　舜山木本誠著

（表）

文化三年丙寅九月

奉再興九龍嶋大明神
本社辨財天尊守護

神主
山本佐太夫
祀敬謹行

一天太平社頭敏榮
夜乃守里日乃護繁榮
利幸倍賜堅盤
護倍盤

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03956

（裏）

古座浦庄屋
西畑平三郎
肝煎
津田勢右エ門
組頭
関戸屋八兵衛
同
切目屋庄八
同
濱屋源右衛門
同
藤代屋嘉吉

氏子中
世話人
角屋茂右エ門
同
鍛冶屋九兵衛
同漁師惣代
長太夫
細工
京屋惣次郎

此節神主弥次太夫休役

（表）

文政二年己卯正月吉旦

為海上安全浦繁栄祈所

神主
九太夫
弥次太夫

奉再建九龍嶌辨財尊太鳥居守護

古座浦庄屋集節
中湊村庄屋 嘉兵衛
肝煎 喜三郎
大工 長右エ門
石工 喜三兵衛

寄附講中
源嘉茂
上野惣次郎
氏半六
重吉
藏平
五郎
源兵衛半兵衛
藏善右エ門
藏弥兵衛長藏
助傳右エ門
権右衛門

（裏）

文政五壬午年六月二辨財天拜禮ニ登山いたし候時より尊像并に
棟札と小箱に守護奉り置を此時より何方へ盗みとりにけしや紛
失ずしるなきて行方不知相成候に付棟札和相改今般奉守護者
也

文政五壬午九月吉日

神主　山下佐太夫
立野弥沢太夫
庄屋　喜三郎

（表）

文政七歳

海上無難

奉再興九龍嶋大辨財天尊守護

神主　弥沼太夫
九太夫

大漁繁昌

庄屋　喜三郎
肝煎　源兵衛

申五月吉良日

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03956

（裏）

於當浦ニ九龍嶌大明神本社辨財天ノ尊像

壬午年七月ニ紛失仕候ニ付今般世話人出

来尊像ヲ寄附仕奉再興者也

年号月日

世話人　藤白屋弥助
淡路屋茂六
紺屋長五郎
上野氏
才賀屋権太郎
井筆源平
藤白屋弥九良
佐野屋文太夫

（表）

古座浦勢嶌者往古与理天女乎地祇（御門）ニ称奉岐此御作神者霊玄
加毛文政五午秋八月ホ失給志乎浦人等孝歎聲不絶志我此度文政
七年申十二月神主春光ホ夢乃悟志在ル本津御祠ホ歸勢給志者尊
加毛嬉加毛春光我家ホ直ホ迎奉志乎文政八乙酉正月旦本津芙顕
乃御舎乎板清平良ホ久鎮坐勢登称辞竟奉留

文政八乙酉正月

爲古座浦大漁満足繁榮

神主　春光
同　庄屋　九太夫
庄屋肝煎　喜三良
走詰人　源兵衛
同　与右衛門
同　傳六

黒木

古座神社之部　御棟札計壹葉

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03956

（表）

奉鎮祭屋船久々能知神　手置帆負神
屋船豊受姫神
彦狭知神　古座神社新築社務所

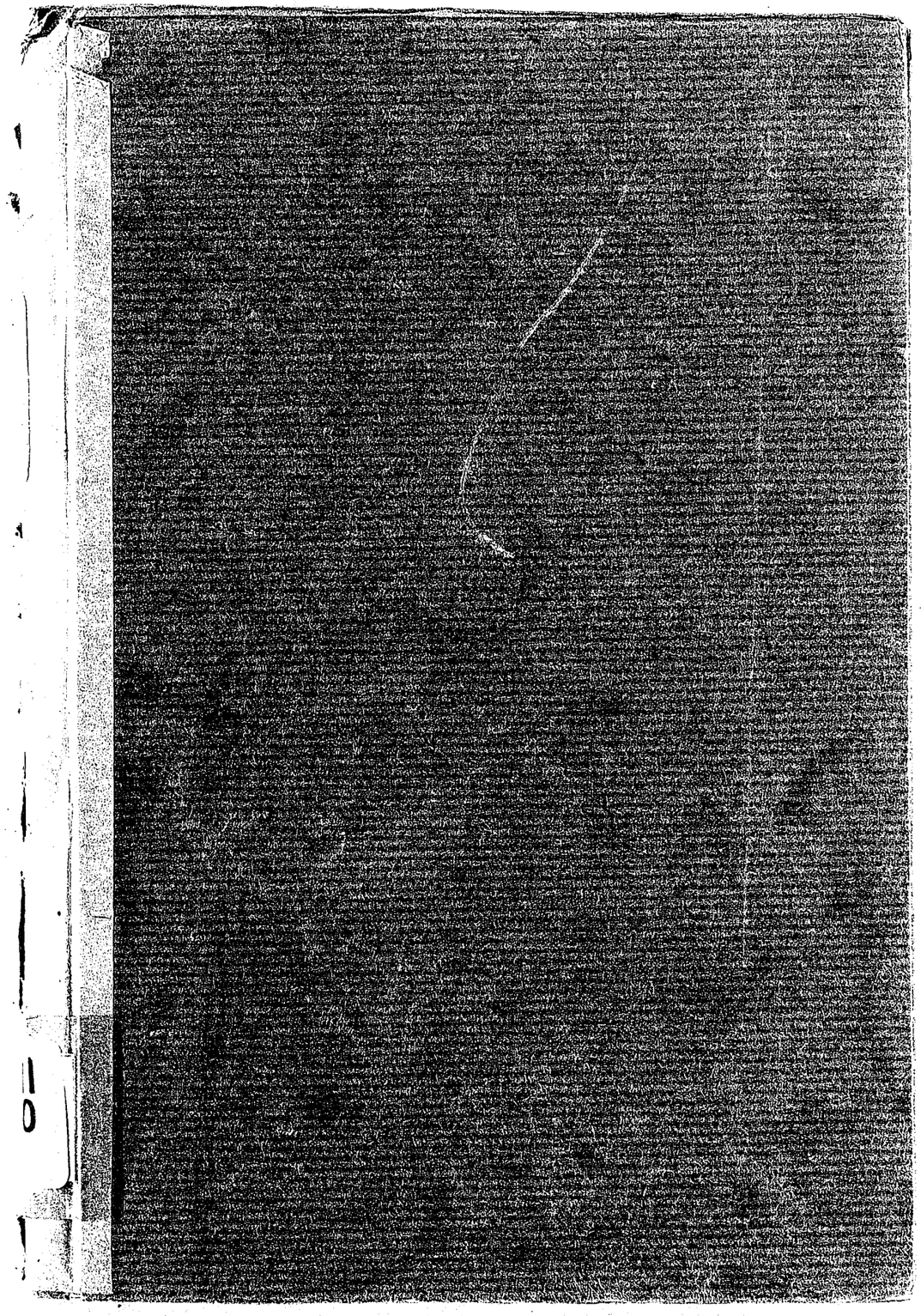
古座區役議組合組長
氏子總代
建築委員
森政太郎　仝　森政太郎　仝　西川吉太郎
津田松之助　仝　橋庄太郎　仝　新宮勝助
仝　森政太郎　仝　洲利郁之助　仝　津井庄一郎
仝　住吉幸助　仝　上野山善之助　工匠　高師浦三郎

大正十五年十一月廿日上棟祭執行齋主古座神社々掌西祐彦

昭和八年一月七日西祐彦氏より寄贈ヲ受ク

中根

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03956



県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03956